

生涯学習部

運営方針

生きがいを持っていきいきと創造的に暮らせる社会の実現

市民一人ひとりが生きがいを持って、いきいきと創造的に暮らせる社会を実現するために、市民がつながり、地域がつながる場をつくり、子どもの育ち、市民の学び、スポーツ、文化活動を支援します。

【重点施策とめざす方向】

生涯学習関連事業の推進

文化会館・市民交流センター、スポーツ施設等生涯学習関連施設の効果的・効率的な管理運営を通じて、生涯学習関連計画を推進し、生涯学習関連事業の展開を図ります。

特に、スポーツ施設ストック適正化計画の策定を進めるとともに、国際化・多文化共生ビジョンを推進します。



【実績】

ほぼ目標どおり達成

文化会館・市民交流センター、スポーツ施設等において、新型コロナウイルス感染症拡大による影響がありましたが、指定管理者による適切な管理運営が行われ、各施設を活用した様々な事業を実施しました。

特に、スポーツ施設等では、劣化に伴う保全時期や費用を把握し、安全かつ長期的に使用していくため、スポーツ施設個別施設計画を策定しました。

また、国際化・多文化共生ビジョンに基づき、国際化・多文化共生の一助として「災害時多言語資料BOX」を作成しました。

子どもを守り育む環境づくりの推進

待機児童を出すことなく、放課後児童会の安定的な運営を行うとともに、放課後子ども教室等の充実を図りながら、子どもたちの安全で安心な居場所の確保に努めます。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどとの連携を進めながら、地域や家庭の教育力を高める取組みを支援します。



ほぼ目標どおり達成

放課後児童会については、1,075名の児童を受け入れ、30クラス体制で運営し、待機児童を出すことなく運営しました。放課後子ども教室については、延べ15回、302人の参加となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施は2学期のみとなりました。

また、青少年健全育成関係団体やPTAなどとの連携については、地域環境向上のための啓発活動の実施や街頭パトロールなどの協力を求め、多くの事業が中止になる中、地域や家庭の教育力を高める取組みを支援しました。

歴史文化遺産の保護・活用の推進

文化財保存活用地域計画に基づいて、指定文化財の保存、継承のために補助事業の適正執行を図ります。

また、日本遺産に認定されたストーリーの魅力を発信し、効果的に普及啓発を行うことで、郷土の歴史や文化への誇り、愛着心の醸成を図ります。



ほぼ目標どおり達成

国宝観心寺金堂他観心寺の文化財建造物について防犯設備の設置を行い、金剛寺金堂、観心寺如意輪観音坐像の保存修理を実施しました。また史跡金剛寺境内の整備に着手しました。

日本遺産ストーリーの構成要素である史跡金剛寺境内、史跡観心寺境内、烏帽子形城跡を活用し、地域の児童による子ども文化財解説を行い、また市民へ向けたパネル展示や講演会を行う等、郷土の歴史や文化への誇り、愛着心の醸成を図りました。一方、一部の普及啓発事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止や延期となりました。

図書館サービスの推進

第3次子ども読書活動推進計画を推進し、令和2年度中に第4次計画を策定します。新しい生活様式に対応した電子書籍の導入や郵送サービスの実施、読書バリアフリー法に基づく計画の策定検討、郷土資料の修復・公開など、図書館サービスの充実を進めます。また、英語村構想事業と連携した、英語多読資料の整備・普及に取り組みます。



目標どおり達成

第3次子ども読書活動推進計画の期間満了にともない、国の第四次計画等を踏まえながら、令和3年3月に第4次計画を策定しました。

令和2年9月に電子書籍を導入し、着払いによる郵送貸出サービスを制度化しました。読書バリアフリー法に基づく計画については、第4次計画ほか、障がい福祉計画など他計画の実施の中で実現を図ることとしました。郷土資料31点の修復等を行い、保存・活用等を進めました。

英語多読資料を1,569点整備し、年間7,851点の貸出がありました。